

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公共下水道共用管建設負担事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課					
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	江戸川左岸流域関連公共下水道、手賀沼流域関連公共下水道の利用者	意図	地形上等から、公共下水道（汚水・雨水）が隣接する他市（柏市、松戸市等）に流出、または本市に流入せざるを得ない地域について、関係市と協議の上、共用で整備する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市と協議の上、公共下水道管を共用で整備を行う。 ・地形上等から、公共下水道が隣接する他市（柏市、松戸市等）に流出、または本市に流入せざるを得ない地域の整備を促進することで住環境が向上する。 			
事業開始から現在までの状況変化	地形上等から、公共下水道が隣接する他市（柏市、松戸市等）に流出、または本市に流入せざるを得ない地域について、関係市と協議の上、公共下水道管を共用で整備している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	・共用管を整備することで、整備費用の軽減が図れる。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・地形上等から、公共下水道が隣接する他市（柏市、松戸市等）に流出、または本市に流入せざるを得ない地域の整備を促進することで住環境が向上する。 ・H29資本的収入102,546,910円 資本的支出 1,163,963円			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		25,506,000	7,245,557	2,506,363				
事業費(b)(円)		24,000,000	5,872,557	1,163,963				
うち一般財源		11,429,272						
職員給与と費(c)(円)		1,506,000	1,373,000	1,342,400				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	江戸川左岸流域関連公共下水道について、公共下水道（汚水・雨水）を共用で整備した。手賀沼流域関連公共下水道について、公共下水道（汚水）を共用で整備した。	③取組の課題	円滑な整備推進のため、関係市（柏市、松戸市等）と協議・調整を図りながら進める必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	事業費について、隣接する他市（柏市、松戸市）と協議・調整を実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	関係市と共用管の事業計画等について、十分協議し進めていく。